

地域	島根県出雲市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	6 - 20 - 002
----	--------	-----	------------	------	--------------

事業名	出雲産の果物(ブドウ、柿、いちじくなど)を活用した ドライフルーツ商品の改良・開発及び販路拡大
-----	--

連携体	中小企業者：(有)日吉製菓(製造業)
	農林漁業者：農業生産法人(有)桃源(農業)
	連携参加者：キョーワガス産業(株)(サービス業)

サポート機関等	出雲商工会議所、島根県商工会联合会、出雲商工会、 地域活性化支援事務局
---------	--

### 事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

#### ◆連携の経緯

島根特産であるデラウェアの需要減少から、農業者である(有)桃源は大粒の巨峰・ピオーネに品種転換を図っている。農業経営を安定させるために、今まで市場に流通させることが難しい規格外品の付加価値向上が重要であり、(有)桃源はその策を模索していた。そのような折、菓子製造に実績のある(有)日吉製菓と出会い、連携して「枝付き干しブドウ」などドライフルーツの製造・販売を行うことになった。

規格外品の巨峰



枝付き干しブドウ



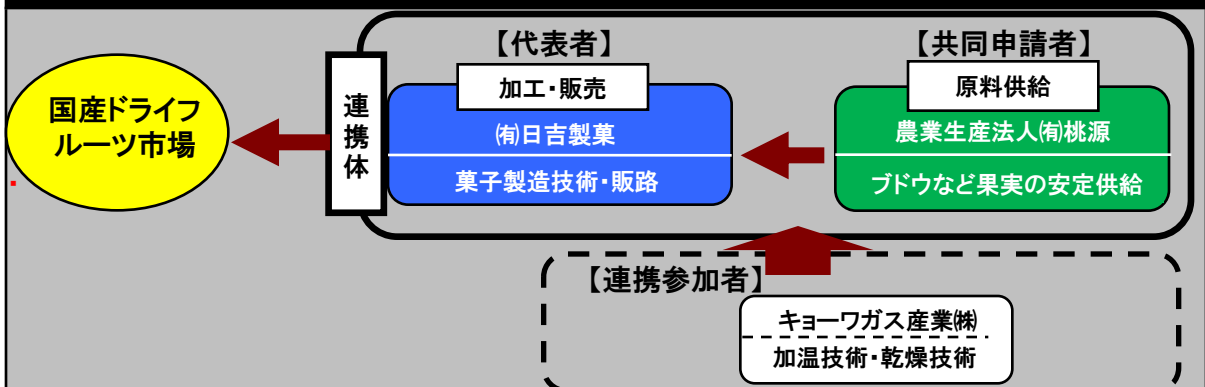
#### ◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

本事業の主力商品である「枝付き干しブドウ」を含む干しぶどう(レーズン)は、海外ではワインとの相性のよさから酒肴の1つとなっており、国内でもワインの消費安定から、高級百貨店、高級スーパー、ワイン専門店、ワインバーなどで扱われるようになっている。

しかしながら干しブドウの殆どが輸入品であり、日本国内では気候条件およびドライフルーツ用乾燥技術の未発達から、それほど多く生産されてこなかった。

本事業にて、ブドウ素材の持つ魅力を損なわず更にうまみを引き出す枝付き干しブドウを開発・改良し、国産の安心できるドライフルーツとして市場開拓を行う。

### 連携体の構成と活用する経営資源



### 期待される地域経済への効果等

- ◆ 輸入品依存度の高い市場での「国産品」アピールによる、知名度向上とブランド確立。
- ◆ 規格外品を有効活用して付加価値を高めるといった新しいビジネスモデルの確立。
- ◆ 将来展望として地元農家の参画による事業規模拡大。

### 代表企業等の連絡先

- ◆ 代表者・所在地：有限会社日吉製菓  
(出雲市長浜町659-19)
- ◆ 電話番号：0853-28-2930
- ◆ FAX番号：0853-28-2945
- ◆ E-mail：hayashi@hiyoshi-seika.com
- ◆ ホームページ：http://hiyoshi-seika.com

地域	島根県雲南市	認定日	平成20年9月19日	通巻番号	6 - 20 - 003
----	--------	-----	------------	------	--------------

事業名	島根県雲南市の山椒を活用した和風パスタソースと、そば製造技術を活かした生パスタをセットにした新商品の開発・販売
-----	---

連携体	中小企業者：(有)本田商店（製造業）
	農林漁業者：いずも八山椒(有)（農業）
	連携参加者：

サポート機関等	雲南市産業振興センター、島根県商工会連合会、雲南市商工会、地域活性化支援事務局
---------	---

**事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)**

◆**連携の経緯**

(有)本田商店は、「食べて美味しい・身体に美味しい」を基本理念として、国産・無添加の生そばを中心に生協・百貨店などで販路を築いてきた。更なる成長を目指すべく、新たな事業として、「そば」の製造技術を活かした生パスタと、山椒を使った和風ソースをセットにした商品の開発・販売に取り組む。「国産」で「安全・安心」である山椒を探していた折、地元で減農薬栽培に取り組んでいる、いずも八山椒の紹介を雲南市産業振興センターから受け、当事業の協力・連携を開始した。

減農薬栽培による山椒



◆**新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力**

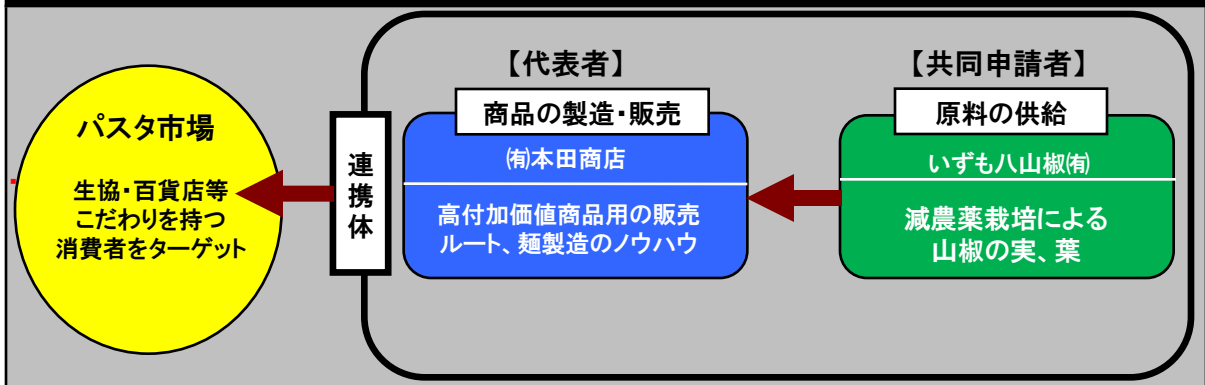
そば市場が頭打ち状態であるのに対して、パスタ市場は拡大中である。本事業では、山椒の実と葉をソースに使用し、さわやかな香りと辛味、すっきりした後味を実現した新しい和風パスタソースを開発する。

調理例



さらには(有)本田商店の「そば」の製造技術を活かした、無添加で日持ちのする生パスタとセット販売し、従来からのパスタの購買層である女性・若者はもちろん、こだわり・健康志向をもつ消費者のニーズを満たす商品として生協・百貨店での販路開拓を行う。

**連携体の構成と活用する経営資源**



**期待される地域経済への効果等**

- ◆「山椒」の一大産地化による「雲南市」の知名度とブランド力向上。
- ◆地元休耕田の有効活用モデル事例。

**代表企業等の連絡先**

- ◆代表者・所在地：有限会社本田商店  
(島根県雲南市木次町里方1093-43)
- ◆電話番号：0854-42-2100
- ◆FAX番号：0854-42-0176
- ◆E-mail：konaya-h@bs.kkm.ne.jp
- ◆ホームページ：http://www.fdch.jp/?s=15

地域 島根県 松江市 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 6 - 20 - 004

**事業名**

「畜産業の生産性向上に貢献する分娩見守りシステムなどのIT活用普及事業」～後継者を育む畜産業の実現～

**連携体**

中小企業者：(株)ワコムアイティ（情報サービス業）

農林漁業者：あおぞら農業協同組合

連携参加者：山野牧場（農業）、岡山県総合畜産センター、島根県畜産技術センター

**サポート機関等**

地域活性化支援事務局

**事業概要（連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力）**

◆**連携の経緯**

黒毛和牛の一大産地である鹿児島県に所在するあおぞら農業協同組合は、地元畜産農家に対して大規模牧場経営のモデルとすべく、大規模実験牧場として「肉用牛繁殖実験センター」（飼育頭数：約260頭）の運営を計画している。

一方、畜産業の生産性向上・大規模化を支援するITシステムをワコムアイティが開発していることから、畜産業を発展させたいという双方の思いが一致し、製品開発・販売での連携を行うことになった。

ワコムアイティ製「分娩・発情検知システム」



◆**新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力**

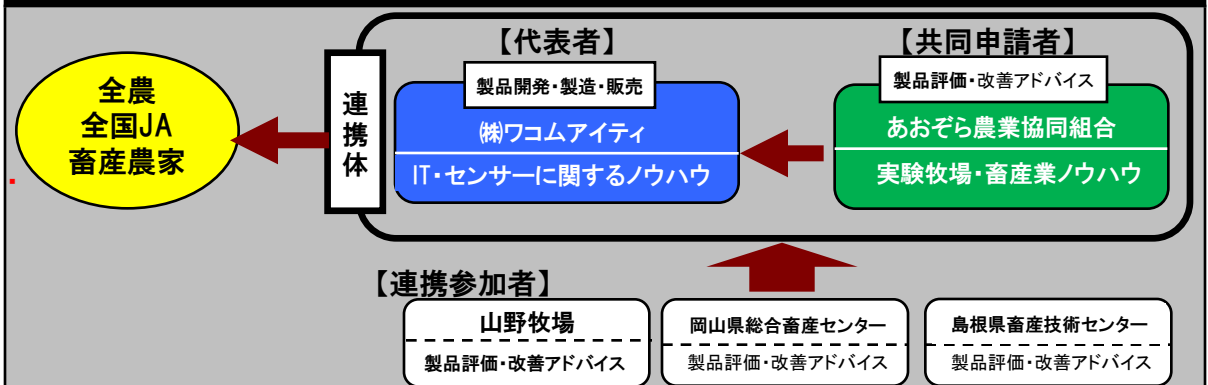
今後ITの活用度が大きく伸びると予想される畜産業向けに、既存商品「分娩見守りシステム」のほか、検知精度が高く・牛に装着しやすくしてストレスも少ない「分娩・発情検知システム」、さらには「牛見守り代行サービス」などの商品を開発・販売する。

利用者の視点に立った操作性のよい製品提供により、後継者不足に悩む畜産業の経営改善・発展に貢献する

JAあおぞら「肉用牛繁殖実験センター」



**連携体の構成と活用する経営資源**



**期待される地域経済への効果等**

- ◆ 畜産先進地としての知名度・ブランド力向上。
- ◆ 多頭飼育の普及による国産畜産業復権。
- ◆ 畜産業に於ける情報通信技術の積極的活用推進。
- ◆ 島根県発のコンピューター言語「Ruby」の活用による、同言語プログラマー人材育成促進。

**代表企業等の連絡先**

- ◆ 代表者(所在地):株式会社 ワコムアイティ (島根県松江市北陵町43)
- ◆ 電話番号:0852-20-7200
- ◆ FAX番号:0852-21-8729
- ◆ E-mail:info-wit@wacom-it.co.jp
- ◆ ホームページ:http://www.wacom-it.co.jp/